

ご使用前に必ずお読みください。

取扱説明書

フルハーネス型・サスペンダー対応 胴当てベルト

このたびは、《タジマ フルハーネス型・サスペンダー対応胴当てベルトシリーズ》をお買い上げいただきありがとうございます。本品は、建設工事現場・工場等の高所作業に用いるフルハーネス、サスペンダー、胴ベルトに取付けてお使いいただく胴当てベルトです。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、ご使用ください。⚠危険・⚠警告・⚠注意の項目は、事故を未然に防ぐために厳守してください。この取扱説明書は、いつでも活用できるよう大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、弊社HPにも掲載しておりますので、プリントアウトして保管してください。

HPアドレス：www.tajimatool.co.jp

(HPトップページにある「取扱説明書」のボタンをクリックしてください)

製品に関するお問い合わせは

✉ <https://jpn.tajimatool.co.jp/inquiry>



TEL 0120-125577

受付時間：
月曜日～金曜日 9:00～17:00

(12:00～13:00/祝日・当社指定休日を除く)

株式会社TJMデザイン 本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3
0120-125577 www.tajimatool.co.jp

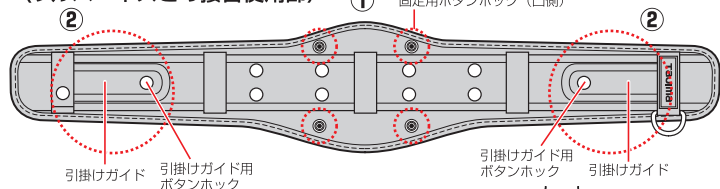
2.SEGフルハーネス・SEGサスペンダーの取付け方法

※イラストはCRXシリーズです。GAXW・ACRX・USFX・USCX・CKRXシリーズも同じ取付け方法です。

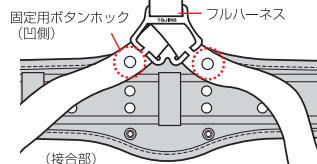
⚠注意 SEGマークの無いフルハーネス・サスペンダーは取付けられません。ご使用前に必ず組合わせるフルハーネス・サスペンダーの取扱説明もあわせてご確認ください、正しくお使いください。

SEGフルハーネス

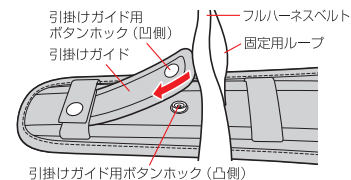
〈フルハーネスとの接合使用部〉



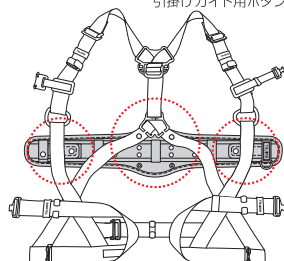
① 胴当てベルト中央の固定用ボタンフック上側2つ（凸側）とフルハーネスの固定用ボタンフック（凹側）の位置を合せ、しっかりはまるように奥まで押し込み止める。



② 引掛けガイド用ボタンフック（凸側/凹側）を外し、図のようにフルハーネスの固定用ループ部を通す。引掛けガイド用ボタンフック（凸側/凹側）を閉じて固定する。反対側も同じように固定する。その際ベルトがよじれないように注意する。



〔取付け完成図〕

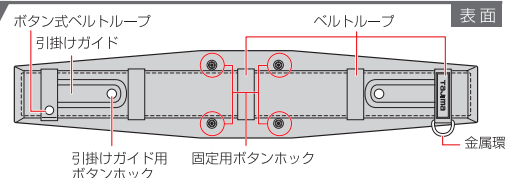


1.各部名称

※参考ウェストサイズはあくまでも目安です。着用する作業服の厚などにより異なります。

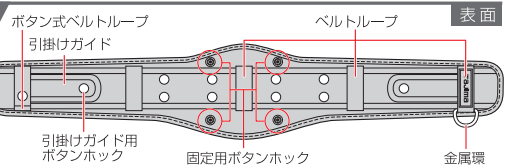
GAXW600/700/800

参考ウェストサイズ※
GAXW600 約80cmまで
GAXW700 約100cmまで
GAXW800 約120cmまで



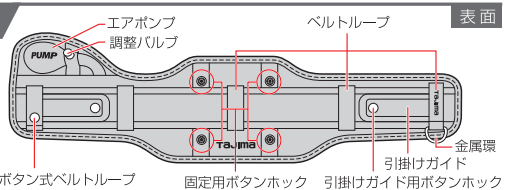
CRX700/800/900

参考ウェストサイズ※
CRX700 約80cmまで
CRX800 約100cmまで
CRX900 約120cmまで



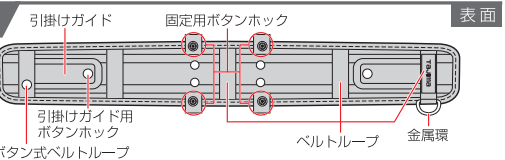
ACRX600/700/800

参考ウェストサイズ※
ACRX600 約80cmまで
ACRX700 約100cmまで
ACRX800 約120cmまで



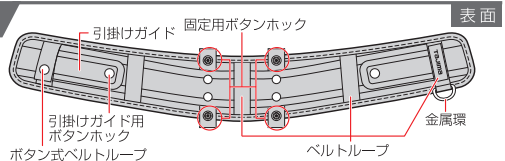
USFX600/700/800

参考ウェストサイズ※
USFX600 約80cmまで
USFX700 約100cmまで
USFX800 約120cmまで



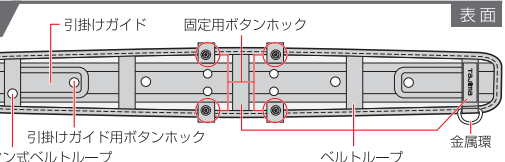
USCX600/700/800

参考ウェストサイズ※
USCX600 約80cmまで
USCX700 約100cmまで
USCX800 約120cmまで



CKRX700/800/900

参考ウェストサイズ※
CKRX700 約80cmまで
CKRX800 約100cmまで
CKRX900 約120cmまで

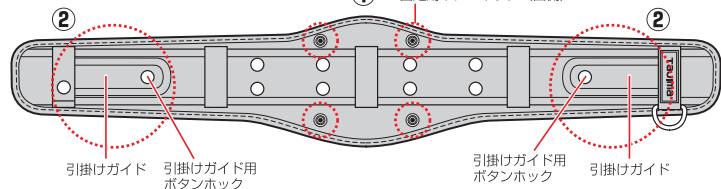


対応表	フルハーネス・サスペンダー		
	S	M	L
胴当てベルト GAXW600・ACRX600・USFX600・USCX600	○	○	※2
GAXW700・CRX700・ACRX700・USFX700・USCX700・CKRX700	○	○	○
GAXW800・CRX800・ACRX800・USFX800・USCX800・CKRX800	○	○	○
CRX900・CKRX900	※1	○	○

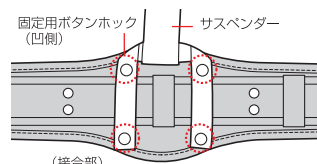
※1.フルハーネス・サスペンダーの固定用ループに胴ベルトを通し固定（引掛けガイド内側）
※2.フルハーネス・サスペンダーの固定用ループに胴ベルトを通し固定。（引掛けガイド外側）
フルハーネス・サスペンダーと胴当てベルトの組合わせは同サイズのものをおすすめします。

SEGサスペンダー

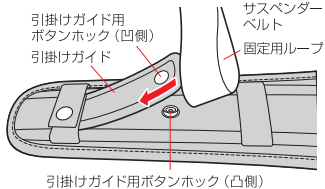
〈サスペンダーとの接合使用部〉



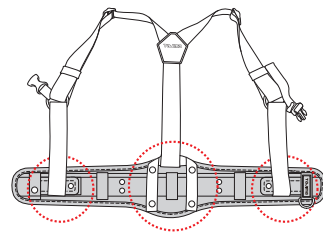
① 胴当てベルト中央の固定用ボタンフック（凸側）とサスペンダーの接合部の固定用ボタンフック（凹側）の位置を合わせ、しっかりはまるように奥まで押し込み止める。



② 引掛けガイド用ボタンフック（凸側/凹側）を外し、図のようにサスペンダーの固定用ループ部を通す。引掛けガイド用ボタンフック（凸側/凹側）を閉じて固定する。その際ベルトがよじれないように注意する。



〔取付け完成図〕

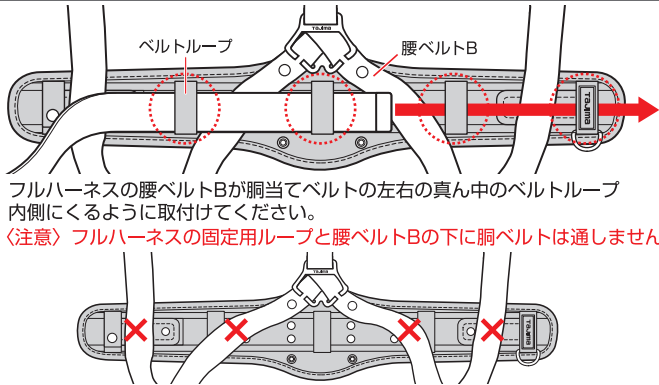


3. 胴ベルトの取付け方法

※イラストはCRXシリーズです。GAXW・ACRX・USFX・USCX・CKRX シリーズも同じ取付け方法です。
ベルトループ数：600サイズの胴当てでは2箇所、その他サイズの胴当てでは4箇所あります。

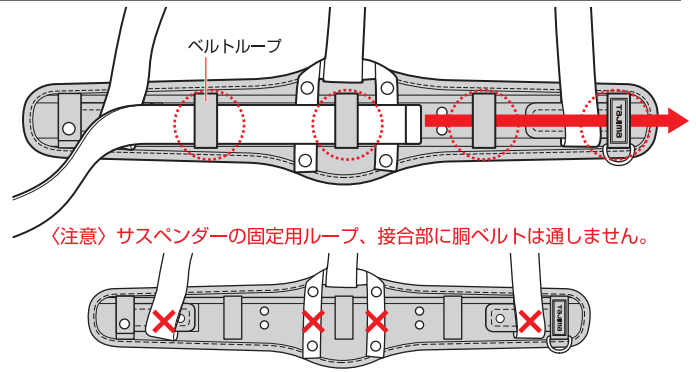
2の方法でフルハーネス、サスペンダーを取付けた後、図のように胴ベルトを胴当てベルトのベルトループに通す。

SEGフルハーネス



フルハーネスの腰ベルトBが胴当てベルトの左右の真ん中のベルトループ内側にくるように取付けてください。
〈注意〉フルハーネスの固定用ループと腰ベルトBの下に胴ベルトは通しません。

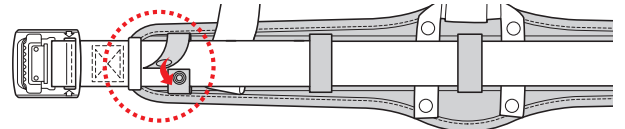
SEGサスペンダー



〈注意〉サスペンダーの固定用ループ、接合部に胴ベルトは通しません。

SEGフルハーネス・SEGサスペンダー 共通

ボタン式ベルトループのボタンを外し、胴ベルトのバックルを通し、最後にボタンを止め固定する。



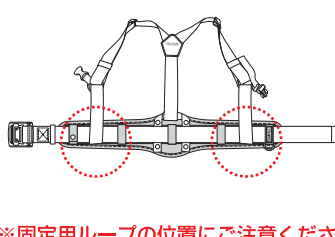
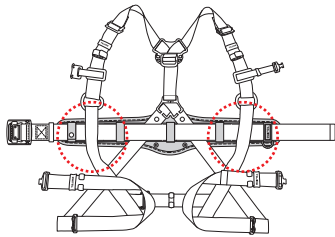
〈ご注意〉下記製品の組み合わせの場合、胴当てベルトの「引掛けガイド」は使用せず、胴ベルトをそれぞれの固定用ループに通します。

〈対応表〉※1の組み合わせの場合

CRX900・CKRX900

フルハーネス〈Sサイズ〉

サスペンダー〈Sサイズ〉



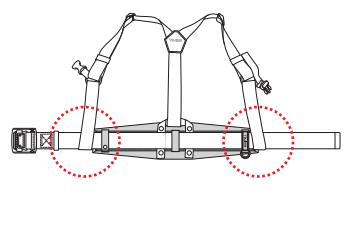
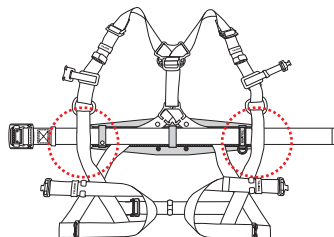
※固定用ループの位置にご注意ください。

〈対応表〉※2の組み合わせの場合

GAXW600・ACRX600・USFX600・USCX600

フルハーネス〈Lサイズ〉

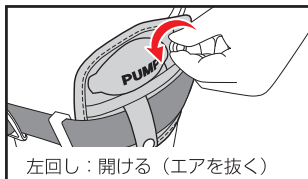
サスペンダー〈Lサイズ〉



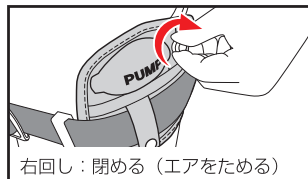
■空圧（ACRXシリーズ）装着手順

- ①装着時は調整バルブを開け胴当てベルトのエアバッグの空気が抜ける状態で胴ベルトを確り締めます。
 - ②調整バルブを閉め数回ポンプを押しエアバッグの膨らみを調整します。
 - ③締め付けが強すぎた場合は調整バルブを緩め再度調整をしてください
- ※保管時は調整バルブを開けエアが抜ける状態で保管してください。

調整バルブの使用方法



左回し：開ける（エアを抜く）



右回し：閉める（エアをためる）

エアポンプ使用方法



調整バルブを閉めた状態でポンプを押すとエアがたまります。

使用上のご注意

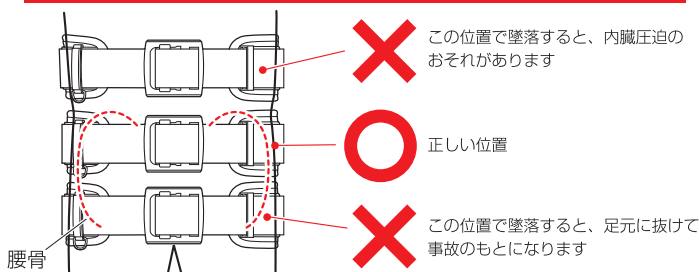
危険 誤った使い方をしますと、墜落などの危険性がありますので、絶対にやめてください。

- 本品を胴ベルトと組合わせて墜落制止目的でご使用になる場合、必ず墜落制止用器具と組合わせてお使いください。
- 改造や部品の取外し等の加工は絶対に行わないでください。
- 組合わせて使用される製品の取扱説明書もあわせてご覧いただき、正しくお使いください。
- 作業用ベルトなどと組合わせてご使用いただくことも可能ですが、その場合は絶対に墜落制止目的としては使用しないでください。
- エアクションへの空気の入れ過ぎは血管の圧迫などにより身体に影響を及ぼす可能性がある場合がございます。（ACRXシリーズのみ）

警告 誤った使い方をしますと、墜落などのおそれがありますので、やめてください。

- 胴当てベルトは腰骨の位置でしっかり締めてください。
ベルトはできるだけ腰骨の近くで墜落制止時に足部の方へ抜けない位置で、胸部へずれないように確実に装着してください。

腰骨の位置で身体にフィットするようにしっかり締めてください。



この位置で墜落すると、内臓圧迫のおそれがあります

正しい位置

この位置で墜落すると、足元に抜けて事故のもとになります

注意 安全にお使いいただくために守ってください。

- 本品は腰に装着した時に金属環が右側下に向いている事を確認して、装着してください。上下逆になると腰にフィットせず、本来の効用が期待できません。
- 胴当てベルトとフルハーネス/サスペンダーは同じサイズのものをご組合わせていただくことを推奨します。
- 内部にエアポンプ、チューブ、エアバッグが内蔵されているので鋭利なものを当てないでください。（ACRXシリーズのみ）
- 空気の注入は必ず胴当てを装着後に行い、外すときはバルブを緩めて空気を抜いてからにしてください。（ACRXシリーズのみ）
- エアバッグの空気量は適宜調整してください。（ACRXシリーズのみ）

保管と手入れのしかた

- 胴当てベルトは次のような場所で保管してください。

- ①直射日光に当たらない所。
- ②風通しがよく、湿気の少ない所。
- ③火気・放熱体などが近くない所。
- ④腐食性物質を置いていない所。
- ⑤塵埃の少ない所。
- ⑥子供が遊びに使ったり、動物が製品に損傷を与えたりしないような場所。

- 物品の下積みなどにより傷や変形が起こらないようにしてください。
- 泥・埃・油・塗料が付着している場合は、乾いた布等で拭き取ってください。
- 雨や汗でぬれた場合は陰干し（自然乾燥）で完全に乾かしてください。